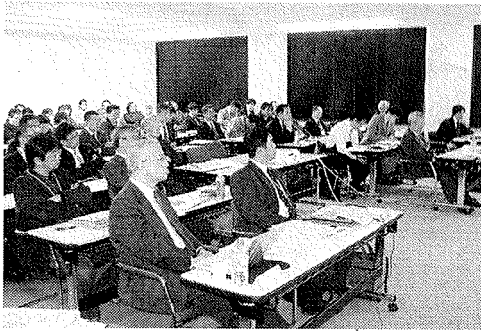


長崎でグリーンEIT技術者養成講座

スマートグリッドなど 最新の動向紹介

九州地域イノベーションパートナーシップ九州ITパートナー事務局



県内のIT企業など80人超が参加した長崎会場

EIT技術者養成講座 in 長崎を開催した。

「エネルギーの情報化でスマートグリッドの次世代技術を紹介しインターネット革命に匹敵するエネルギー革命を」とをサブタイトルに、省電力につながるエネルギー制御をするための環境エネルギー技術「グリーンEIT」を習得するために開催した。

の。長崎会場には、県内IT

E企業や大学関係者など80人超が参加し

はじめに主



あいさつした芦原氏

主催者を代表して、九州組込みソフトウェアコンソーシアム（QUEST）副理事長の芦原秀一氏は「グリーンEITのように知名度は高くないが、低炭素社会へ貢献する技術としてグリーンEITの認知を広めていきたい。グリーンEITのEITは組み込み技術に加え、エネルギー技術を意味する」と述べた。

どんどん小さくなってきており、一つの大学や一つの研究室だけで多様化する社会のニーズに対応できなくなっている。大学の第一の使命は教育と研究だが、社会や地球への貢献も大きな柱。教授陣の知を集め、ベクトルの向きを合わせて協働することで大きな力になる」と語った。

基調講演「スマートグリッド及びその国際標準化の動向」（九州大学大学院システム情報科学研究院客員教授合田忠弘氏）をはじめ、産学から6テーマでエネルギー分野の最新動向が紹介された。

この講座は09年度3回計画で実施。1回目は10月に熊本で開催しており、3回目は10年2月4日に福岡県内で開催する予定。

【長崎】九州内の地場ITベンダーへの支援を行う九州地域イノベーションパートナーシップ九州ITパートナー事務局（事務局）総合科学大学で「グリーン

九州先端科学技術研究所、

事務局長 森光武則・九州

先端科学技術研究所次長

はこのほど、長崎市の長崎